



W

K

O

O

●まえがき●

こんなコピー誌を手取る方は多分初めましてじゃないでしょうからマドゥ(´Д`)ノ
放浪のケモとシヨタ描きのMacop. (まこぷ)です。
冬コミの新刊を入稿し、さあ商業誌の原稿描かなきゃと思ったらその仕事が急になくなってしまい
ポカッとスケジュールに隙間が空いてしまったので急遽コピー誌でも作ってみようかなと思って
作ってみました。

せっかく久しぶりのコピー誌なので今回はちょっと実験です。
ここ最近筋肉だの骨格だのの勉強をしながら漫画を描いていたので、そのへん全部無視しました。
画面の中でエロいなと感じた線だけで絵を構成しています。いわゆるぶに系の描画の仕方です。

ついでにポコオとかぶに体型に巨根とかSDキャラとか極端なアヘ顔、違う目の描き方など
普段描かないものも描いています。
私は飽きっぽい性質なので、普段やらない事をやってると楽しくてしょうがないです。

そんな実験結果を衆目に晒すのはいかがなものかとも思いますが、
そんな事言ったら私は毎度毎度何か実験してるので人前に出すものが無いではないですか。

まあとりあえず、エロい線だけで構成したので個人的には非常にエロくなりました。
お暇でしたらご覧になっていってください(*´▽`)

*** タイトル ***
BKO

*** 発行日 ***
2011, 12/31

*** 発行者 ***
サークル水底森 Macop. (まこぷ)

*** 印刷 ***
近所のコンビニ

*** WEB ***
<http://macop.neko.ne.jp>

*** E-MAIL ***
macop_001@mail.goo.ne.jp



欲求不満なので
近所で猫の仔を拾ってきた。

怯えるそいつを剥いて
股を開かせたら

男の子だった。
小さいちんこを
ヒクヒクと震わせて
怯えている。



ハズレだがまあ良い。

穴さえあればとりあえず使える。
まずはキツキツのアナルを
俺のモノを挿入できるよう
拡張してしまう事にする。

怪しげな海外の通販で買った
人体拡張薬を注射する。

注射器に怯え泣きじゃくるそいつを
押さえつけて針を打ち込む。

薬液が注入されると
すぐさま効果が表れる。

包皮に包まれていた
ちんこがみるみる剥け
勃起していく。
大きさと一緒に性感も
拡張されるのだろうか
よだれを垂らして
息を荒げ始める。

そろそろアナルも
柔らかくなっただろうか
すぼまった肛門を
指でつついてみると
やはり性感も
過敏になっただらしく
ビクビクと体ごと
跳ね上がり痙攣する。

猫の仔は
自分の体の変化に怯え
許しを乞うが
無視する。

アナルに指を入れて
持ち上げてみると
拡張されたアナルは
易々と拡がり
直腸まで丸見えになる。
ピンク色の肉の穴が
呼吸に合わせて
ヒクヒクと収縮する様は
ひどくいやらしい。

すっかりケツまんこに
なった猫の仔のアナルに
自分のモノをあてがう。
柔らかくなつた肛門の
ヒダが俺の亀頭に
吸い付くように
まとわりつき
これだけでも気持ち良い。

ケツまんこの一番奥まで
一気に突き入れる。

小さな体の奥まで
ちんこが挿り込み
腹まで押し上げる。

ここまで体が小さいと
セックスしている
気分はしない。

暖かい肉穴の
オナホールを使っている
ようだ。

腸の肉襞が
俺のちんこに絡みつき
使い心地は最高だ。

夢中で突き上げていると
猫の子は一際激しく
痙攣して
巨大なちんこから
大量の精液を噴き上げた。

射精の痙攣に合わせて
直腸がキュウキュウと
挿入されているちんこを
締め付けてくる。

薬の効果が強すぎたろうか。

最早一突きごとに
巨大なちんこを振り立て
ひっきりなしに射精する
猫の仔のアナルの中に
思い切り射精する。

律動する俺のちんこが
腹の中に精液を幾度も
叩きつける。

猫の仔は大きくのけぞると
最後の精液を迸らせながら
大きな悲鳴を上げて
気絶した。



俺も最後の一滴まで
精子を注ぎ込む。

ちんこを引き抜いてみると
だらしなくポツカリと開いた
アナルは中出しされた
精液をゴボゴボと溢れさせる。
もうユルユルになり過ぎて
使い物にならない。
一回こっきりの
使い捨てだ。

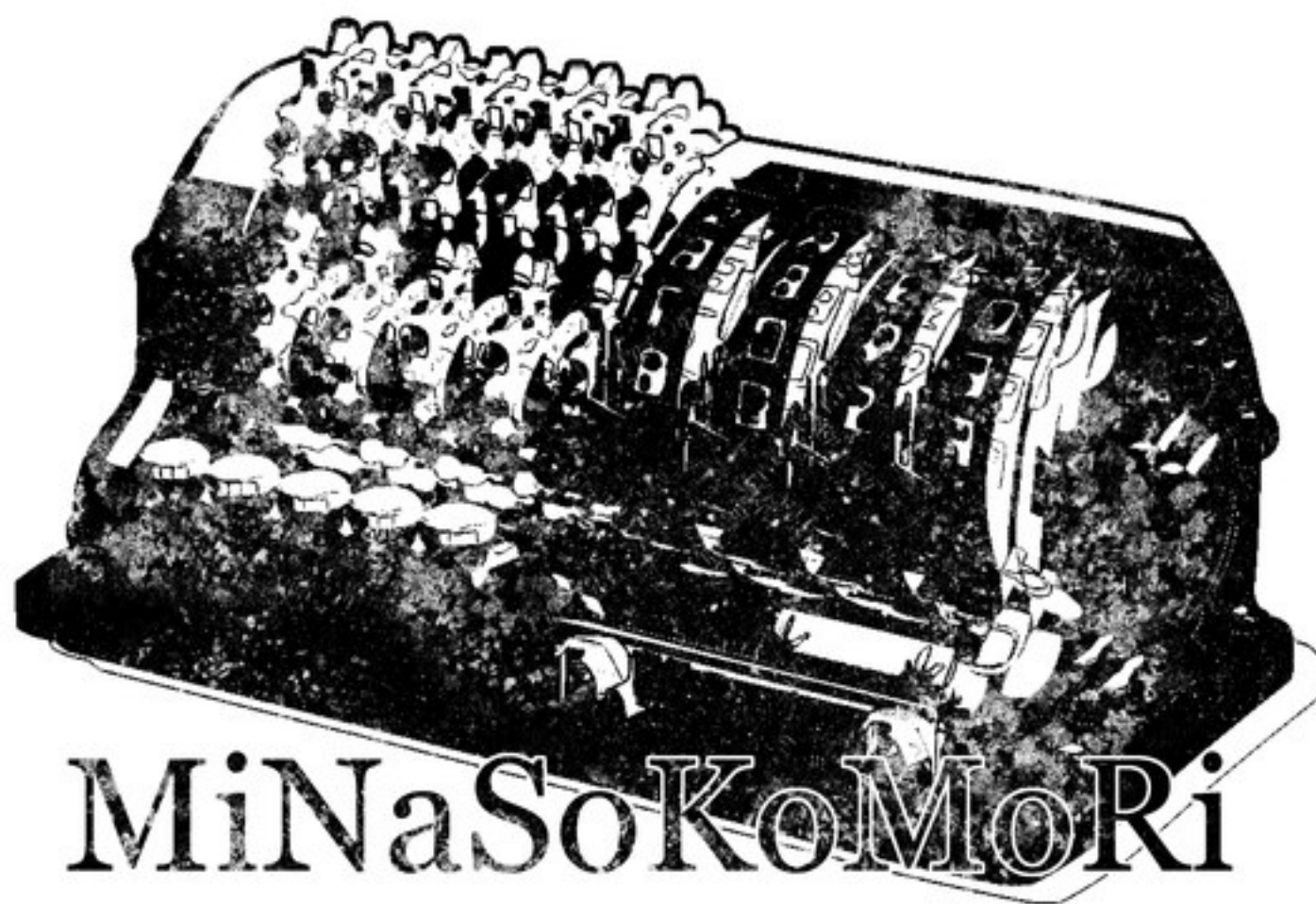
こいつは捨てて
明日もう一匹捕まえてこよう。

白目を剥いて脱力している
猫の仔を俺は放り投げた。

Fin.







MiNaSoKoMoRi